

# PRX-T<sup>®</sup><sub>33</sub>

医療機器の取扱説明書



医療専門家向け資料

wiQO<sup>®</sup><sub>med</sub>

## 顔と首のリバイタライゼーション

### 施術頻度：

週 1 回、1～5 回

### 使用方法

- 1) 皮膚をクレンジングする。
- 2) 施術部位を小さな区画に分けてその 1 区画に少量の本製品を塗布し、本剤が吸収されるまで、指導された手法によって手で皮膚に揉み込むか、提供されたゴム製のハケを用いて同様にすり込む。
- 3) 期待する効果（見た目及び触感でのハリ）が得られるまで塗布を繰り返す。  
通常は約 3 回の塗布が必要である。首の皮膚又は非常に薄くデリケートな皮膚には 1～2 回、非常に厚い皮膚には 5 回までの塗布が必要である。
- 4) 施術面すべての処置が完了するまで、1 区画ずつ塗布を行う（まぶたは避ける）。
- 5) 湿らせた脱脂綿で余分なゲルを拭き取る。患者に冷たい流水で皮膚をすすいでもらう。この時点で、すぐに皮膚の滑らかさとハリが感じられる。
- 6) 皮脂膜を修復し、乾燥を防ぎ、一時的な赤味を和らげるために、施術部位に乾燥肌及び超乾燥肌用の WiQo MOISTURIZING AND NOURISHING FACE CREAM をたっぷり塗る。
- 7) 施術後の自宅ケアとして乾燥肌及び超乾燥肌用の WiQo MOISTURIZING AND NOURISHING FACE CREAM を処方し、最初の数日間は 1 日に 2～3 回、その後は 1 日に 1～2 回塗布する。また、自宅ケア用の WiQo FACE SMOOTHING FLUID も処方し、PRX-T<sub>33</sub> 処置の翌日から、1 日 1 回塗布する。WiQo FLUID を塗布する 1 時間前から塗布 1 時間後までは、他のクリームを使用しないよう患者に指導する。

## デコルテ及び他の部位の皮膚のリバイタライゼーション

### 適応症：

中年以上の患者における光老化、皮膚萎縮

### 施術頻度：

週 1 回、4～6 回

### 使用方法

- 1) 本製品を塗布し、乳房の上四分円に向かって指導された手法によって手で皮膚に揉み込むか、専用のゴム製のハケを用いて同様にすり込む。
- 2) 本製品が吸収され、手袋（又はゴム製のハケ）が皮膚の上を滑りにくくなった時点で、再度本製品を塗布する。3～5 回塗布すると、期待する効果（見た目及び触感でのハリ）が得られる。
- 3) 水ですすぎ、乾燥肌及び超乾燥肌用の WiQo MOISTURIZING AND NOURISHING FACE CREAM を塗布する。
- 4) WiQo ANTI-DRYNESS BODY CREAM FOR SKIN ELASTICITY を処方し、自宅にて 1 日 1 回、毎日塗布する。

## PRX-T<sub>33</sub>を塗布する際の一般的禁忌症

- 炎症のある皮膚
- 敏感肌
- 脂漏性皮膚炎
- コウジ酸に対するアレルギー
- ラテックス手袋を使用する場合、ラテックスアレルギー
- 妊婦及び授乳婦
- 皮疹又はヘルペス発疹

WiQO<sub>med</sub>

### 想定される副作用及び問題：

- **過度のピーリング**：これは、角質層が非常に厚い皮膚に初めて施術した後に起こるおそれがある。場合によっては2～3日持続する。乾燥肌及び超乾燥肌用の WiQo MOISTURIZING AND NOURISHING FACE CREAM を1日数回塗布する。
- **デリケート肌における初回塗布後の発赤**：1回塗布後に赤味がみられた場合は処置を中止する。乾燥肌及び超乾燥肌用の WiQo MOISTURIZING AND NOURISHING FACE CREAM の適用が推奨される。
- **塗布時の強い灼熱感**：これは、敏感肌の患者で起こるおそれがある。「敏感肌」は症状に基づき診断する。すなわち、大多数の人が耐えられる酸性製品の塗布後に患者が灼熱感を訴えた場合に、敏感肌と診断する。灼熱感がみられた場合は、直ちに冷たい流水で皮膚をすすぎ、乾燥肌及び超乾燥肌用の WiQo MOISTURIZING AND NOURISHING FACE CREAM を塗布する。
- **塗布時の発赤**：乾燥肌及び超乾燥肌用の WiQo MOISTURIZING AND NOURISHING FACE CREAM を塗布すれば、赤味は数時間で消失する。
- **遅発性の広範な発赤又は斑状発赤**：これは施術翌日に起こるおそれがある。コルチゾンクリームを数日間塗布することによって治療する（この場合、日に当たらないよう注意する）。
- **乾燥**：更に高頻度で乾燥肌及び超乾燥肌用の WiQo MOISTURIZING AND NOURISHING FACE CREAM を塗布する。
- **コウジ酸又はラテックス手袋へのアレルギー**：コルチゾンクリームを処方する。
- **目に入った場合**：滅菌生理食塩水で洗浄する。
- **施術後数日間におけるかゆみ（発赤あり／なし）**：非常に稀である。おそらくコウジ酸アレルギーによるものと考えられる。ステロイドクリームを処方する。
- **遅発性の限局的炎症（翌日以降に発現）**：施術を受けた皮膚の特定部位における発赤や腫脹であり、おそらく塗布時点で完全に無傷ではなかった皮膚（無症状の皮膚炎、直前にワックス脱毛した皮膚など）が刺激されたことによるものと考えられる。ステロイドクリームを処方する。
- **施術2日間で出現する色の濃い円形の斑**：  
これは、皮膚の厚い部位の乾燥によるものであり、数日で自然に剥落し、消失する。

持続的な炎症（2日以上持続する紅斑）を引き起こす副作用が発現した場合、素因を有する患者において過度の色素沈着が発生するリスクがある。これは紅斑が直接的な原因であり、トリクロロ酢酸に起因するものではない。このような患者は、日に当たらないようにし、効果の高い日焼け止めを使用するよう、監視する必要がある。必要な場合はチロシナーゼ阻害薬を処方する。

## 妊娠線

### 適応症：

新しい妊娠線（ピンクがかった色又は白色）、古い妊娠線（フラクショナルレーザー治療に関連したものを含む）

### 施術頻度：

週 1 回、5～15 回

## 使用方法

- 1) 専用のゴム製のハケを用いて、妊娠線に沿って PRX-T<sub>33</sub> をすり込む。
- 2) 妊娠線の底部が盛り上がるまで繰り返す。ピンクがかった色又は薄い妊娠線では平均 3～5 回、その他の妊娠線では 5～10 回を要する。
- 3) 余分な PRX-T<sub>33</sub> を水で洗い流し、乾燥肌及び超乾燥肌用の WiQo MOISTURIZING AND NOURISHING FACE CREAM を塗布する。

## 新しい陥凹瘢痕

### 適応症：

底部がまだピンクがかった色をしている新しい陥凹瘢痕（ざ瘡、膿痂疹、水痘など）

### 施術頻度：

瘢痕：週 3 回、4～8 週間（瘢痕の底部が 15 日間ふっくらした状態を保つまで）

### 使用法

- 1) 専用のゴム製のハケ又は PRX-T<sub>33</sub> を浸み込ませた綿棒を用いて、本製品を瘢痕の陥凹底部にすり込む。
- 2) 瘢痕の底部が盛り上がるまで塗布を繰り返す。
- 3) 湿らせた脱脂綿で余分なゲルを拭き取り、乾燥肌及び超乾燥肌用の WiQo MOISTURIZING AND NOURISHING FACE CREAM を塗布する。

## 黒皮症

### 施術頻度：

20/30 日に 1 回

## 使用方法

- 1) 弱いクレンジング剤で皮膚をクレンジングする。
- 2) 赤くならないよう注意しながら、PRX-T<sub>33</sub> を 1～2 回塗布する。
- 3) 斑の部分のみ、脱色素剤を塗布する。
- 4) 顔全体に WiQo MOISTURIZING AND NOURISHING FACE CREAM を塗布する。
- 5) 日焼け止め（SPF 50+）を塗布する。
- 6) 自宅ケア用の脱色素剤を処方する。  
一年を通して、外出する前には必ず日焼け止めを使用すること。

## 一般的警告：

- 小さな区画から塗布を開始すること。若干のピリピリ感は異常ではない。強い灼熱感がみられた場合は、皮膚が刺激を受けていると考えられる。このような場合は、施術部位を水ですすぎ、施術を中止し、乾燥肌及び超乾燥肌用の WiQo MOISTURIZING AND NOURISHING FACE CREAM を塗布する。
- 施術後の数日間にこの部位の腫脹によって外見が損なわれるのを避けるため、目の下（くまやたるみのある部分）への塗布は避ける。
- 剃毛又はワックス脱毛後は、適切な時間が経過してから施術を行うこと。
- アレルギー反応を避けるため、ラテックス手袋ではなくニトリル手袋を使用すること。
- 脂漏性皮膚炎の部位（鼻の側面など）には処置を行わないこと。
- 口角炎がみられる場合は、口角への処置は行わないこと。
- 乳房下のシワに処置を施す場合は、皮膚に損傷があった場合に裂傷を引き起こさないよう注意すること。
- 警告：脂漏症又はざ瘡がみられる皮膚に処置を行う場合、特に顔のデリケートな部分（口の両脇など）では、連続した PRX-T<sub>33</sub> の塗布は最大で2回までとし、軽く揉み込む。強く揉み過ぎると、損傷のある皮膚を擦過し、瘢痕化を引き起こすおそれがある。

**WiQo<sup>®</sup>med**  
Scientific Division

[www.wiqomed.com](http://www.wiqomed.com)

[scientificdiv.gpq@wiqo.com](mailto:scientificdiv.gpq@wiqo.com)

外来での PRX-T<sub>33</sub> 施術に関する科学的なご質問又はお問い合わせがある場合は、直通電話にて WiQo<sup>®</sup>med 社の皮膚科医及び研究生物学者にご連絡ください。

**WiQo<sup>®</sup>med**